

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 01 01	中期総合計画主要施策番号		3-02	担当課	部・課	衛生部 医療政策課	
事業名		がん医療に携わる医師に対する緩和ケア研修事業					内線	2619	
							E-mail	iryo@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	がん診療に携わるすべての医師を対象とした緩和ケアの研修会を開催することで、がん患者に対し治療の初期の段階から緩和ケアが提供できるようにする。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] がん診療に携わる医師すべてが、緩和ケアの基本的な知識が十分であるという状況にない。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 緩和ケアの重要性、特に治療の初期からの緩和医療の重要性については、最近認識され始めたため(平成19年6月15日に閣議決定された「がん対策推進基本計画」で目標として掲げられた)							
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 緩和ケアについての基本的な知識を、がん診療に携わる医師に習得させる必要がある。							
	事業内容	がん緩和ケアについての基本的な知識を習得するための研修会の開催 (国庫1/2) 主催:長野県 実施箇所:大北地域							
実施期間	H20 ~ H24		根拠法令等	がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	がん診療に携わるすべての医師を対象とした緩和ケアの研修会を開催することで、がん患者に対し治療の初期の段階から緩和ケアが提供されるようにする。		緩和ケア研修会への約30名の参加を目標とする。			全国的にも先駆的な取り組みであり、医師の研修を初め、看護師等25名の参加を得て、医師等を支援するファシリテーターの養成を行うことが出来た。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度		20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	-	1,502	1,502	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円	-	345		実施方法	直接	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	-	173	751	歳出節別内訳等	報償費等:345 (単位:千円)	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	-	1.00	1.00			
	概算人件費 (C)		千円	-	7,149	7,149			
概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	-	7,494	8,651				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	受講者数		人	-	25	30			
					(看護師等含む)				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判 定 の 説 明	長野県がん対策推進計画に基づく事業であり、継続的な事業の実施が必要。 当面、事業内容等を変更する予定はない。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
課題の総括		平成21年度以降も長野県がん対策推進計画に基づき、継続的な事業の実施に努める。							